

市町村合併のまとめ（原案）についての意見等

1. 合併後の状況

地区名	ご意見等
村 上	<ul style="list-style-type: none"> ●人口減に歯止めがかからない現実の姿がデータで示されている。 ●著しい人口減に比べ、世帯数はむしろ増えている点は意外だと感じるのではないかと。2. 合併の不安に対する対応との関連性がコメントとしてあってもいいのでは。世帯数がほぼ維持されていることから多少とも不安は解消されていないかなど。 ●農林漁業に於いて「限界集落」が無縁でないことを裏付けるデータとして読める。その逆に位置する「散居村」づくりの視点をコメントしてみてもどうか。 ●人口減が農林漁業や商工業の推移に反映されているのは村上だけでなく全国的な問題。大都市に人口が集中している影響や経済的な問題もあると思う。地方自治体も活性化を図り、課せられた課題として考えなければならぬと思う。
荒 川	<ul style="list-style-type: none"> ●荒川地区での人口減少率が相対的に低いことや、世帯数が増加している現象を分析してみる必要があると思う。比較的コンパクトで生活しやすい環境が要因の一つであれば、若者に定住してもらえらるまちづくりを構想する上でポイントになるのではないかと。 ●人口減少で様々な影響が出ているので、地域の皆さんの関係を密にしていくことが重要だと思う。 ●市議会議員をもっと減らしてもいいのではないかと。
神 林	<ul style="list-style-type: none"> ●10年後の最適人口、世帯数はどうなのか早急に集落ごとに考えていく必要があると思う。今後の農業・漁業の従事者はまだ減少し10年後からは一定になり、林業従事者は増えるように思う。商工業はA I化により大きく変わり従事者は減ると思う。行政体制は、質を問われることになると思う。 ●どこでも見られる少子高齢化に伴い子ども、若者が少ない。 ●魅力がないのか1次産業に就業する人がいない。 ●市職員を減らし人件費は大きく減っているが、その分、市民サービスが行き届くか心配である。 ●人口減少が急速に進み、将来の不安が大きい。重要課題として早急に具体策を進めるべき。 ●農林漁業の就業対策として6次産業化への支援策を具体的に示し、推進する必要がある。 ●村上市の少子高齢化率は残念ながら進んでいると言わざるを得ません。

地区名	ご意見等
神 林	<ul style="list-style-type: none"> ● Iターン、Uターンを含め、若者を呼び込む施策を早急に始めなければ将来が危ない現状だと思う。農林漁業の従事者は減少傾向にあるが、若い人の意見、希望を聞いてみる価値はあると思う。 ● 高齢者が急増している現状の中、地域の商店は大事な存在である。継続できる環境を応援していかなければならない。 ● 公共施設で小中学校のみ述べられているが標題はこれでよいのか。 ● 一般職員の内訳を出した方がわかりやすいのではないか。 ● 一般職員数のグラフが、増えているように見える。
朝 日	<ul style="list-style-type: none"> ● 人口減少率が高いのは旧朝日村で実施し効果のあった構想を実施出来なかったからである。 ● 若年層が定住できないのは、地の利や地域愛を見いだせない周囲の体制・環境などが関係していると思う。 ● 人口減少に伴い市職員や議員数が減っていくのは致し方ないと思う。問題は職員数より職員の質・能力だと思う。他市の成功事例などを参考に地域の特色を活かした政策として過疎地域を逆手にとった過疎脱却政策を実現してほしい。 ● 世帯数の減少に伴い、第1次産業の後継者が減っているのは、住みやすい環境ではないことが大いに関係していると思う。 ● 農林漁業の後継者不足は時代の流れなのか。それだけでは生活していけないということなのか。 ● 耕作放棄地対策や地産地消の取り組みを進めてはどうか。 ● 人口が特に減少しているのは、いわゆる僻地地帯と言われる区域である。年齢別では、少子高齢化が激化している。この2点を強調してはどうか。 ● 核家族化のため老老世帯が増え、空き家が増加していることにも触れなければならぬと感じる。グラフや表の工夫があると良い。 ● 表7の「組織形態別経営者数」はもう少し分かり易く説明が必要。漁業・林業の高齢化率は高くないが、農業は高いことから後継者不足が心配としてはどうか。 ● 大型店の進出による小売店の減少はすさまじいとしてはどうか。 ● 学校の2年後、3年後の変化も入れてはどうか。学校だけでなく他の施設はなぜ載せないのか。 ● 人件費等について市報などのように分かり易い資料を提示してはどうか。
山 北	<ul style="list-style-type: none"> ● 合併時に10年後を予測した各種数値との比較があっても良いのではないか。 ● 「組織形態別経営者数」は注釈が必要ではないか。 ● 10年前に想定した以上のスピードで人口減少が進んだと思う。山間部は集落の形成が難しい限界集落が生まれ始めている。

地区名	ご意見等
山北	<ul style="list-style-type: none"> ●核家族化が進み、子ども達が県外・市外に出て行くケースが後を絶たない。どの分野においても後継者が育っていない。地域おこし協力隊といった起爆剤もありますが、遅きに失したところがある。 ●村上・荒川地区で街中がリニューアルされ観光化が進んだことは良い傾向だと思う。山北地区は各集落にあったお店が、ことごとく消えてしまった。国道沿いに店舗はあるが、高齢者は交通の便が悪く利用出来ません。

2. 合併の不安に対する対応

地区名	ご意見等
村上	<ul style="list-style-type: none"> ●周辺部への定住とは「限界集落」解消とイコールなのか。周辺部への定住に「散居村」をイメージしてもよいのか。 ●市民の皆さんの忌憚のない声を聞く場や機会を設けてもらいたい。専門用語ではなく聞いている人の目線で分かる説明をお願いします。これからもきめ細やかな対応をお願いします。
荒川	<ul style="list-style-type: none"> ●行財政の効率化を図ることは当然ですが、行き過ぎると、どれだけ職員数を減らしたかで評価されてしまう。非正規職員数が増えていると聞きます。職種によって妥当な例もあると思うが、必要な職員は正規雇用すべき。
神林	<ul style="list-style-type: none"> ●集落の総会を充実させることが根本だと思う。集落の良さや課題をまちづくり協議会が掌握して区長と共有し、小学校区、中学校区、支所単位、市全体へと取り組みを進め、市としての良さや課題をまとめ、集落に戻すというように繰り返すことが肝要だと思う。 ●空き家バンクで入居する人達には、地域や集落の決まりに従う事など義務付けが大事だと思う。 ●保育園や小中学校の統合が進む中、今後、どのように使うのか早急に検討した方が良い。 ●各支所等への予算配分を増額し、住民の不安解消にすぐ対応できる行政サービスのシステムが必要だと思う。 ●若い人の意見をもっと吸収できるような仕組みがこれからは必要だと思う。 ●水道・下水道の従量料金もなるべく早い段階で統一するのが望ましいと思う。 ●統合したあとの旧施設の活用についてをつけ加えてもらいたい。
朝日	<ul style="list-style-type: none"> ●地域おこし協力隊を受け入れて地域の活性化のため、多様な活動を実施しているが、赴任する人と受入れ地域で考え方等、すべてが一致することは難しく、中々、効果があげられないのが現状だと思う。受入れ側や行政職員も過度な期待はせず、おらかな体制で臨むべきだと思う。集落支援員という別な形でのやり方を支援した方が効果があるのではないかと思う。

地区名	ご意見等
朝日	<ul style="list-style-type: none"> ●周辺部への定住及び交流人口の拡大に努めてきた結果を検証し、今後の具体的な取り組みにつなげていければ良いと思う。 ●まちづくり協議会と地域おこし協力隊、そして受入れ集落、地域のつながりは大変重要だと思う。 ●文化芸術振興や文化財保護に関しても触れてほしい。 ●委託や指定管理など民間や、住民活力を活用した市民ニーズを優先させた事業の拡大が必要だと思う。 ●財政規模が小さくなることへの対策として、財政基盤の見直しへのアクションプラン作りが将来的な見通しとして必要だと思う。
山北	<ul style="list-style-type: none"> ●地域文化等の伝承や保存について、具体的にどの様な支援でしょうか。 ●山北地区の文化活動に対して何か支援の計画はありますか。 ●山北地区の生涯学習センターの設立はどうなりますか。 ●公共施設の利用料や水道・下水道料金の統一は大変良かったと思う。 ●集落支援員の活用について記述したらどうか。 ●受入れ体制が十分でないため、グリーン・ツーリズム等は近隣市町村より遅れていると思う。 ●市長とのふれあいトークは参加者が少なく、もう少し開催方法を検討した方が良いと思う。 ●山北地区における公共交通の検討が棚上げになったままです。高齢者の免許返納による移動難民が急激に増加することが予想され、地理的条件の厳しい山北地区こそ公共交通の早期検討をお願いしたい。 ●日東道延伸に向けた「防災道の駅」から「小さな拠点」へとシフトされたが検討が進んでいない。方向を明確に示してほしい。 ●高齢化に対応した行政サービスの提供にあたる事業は無かったのか。 ●地域に密着した各種行政サービスという点は不十分な部分があるのではないか。

3. 合併の効果及び現状

地区名	ご意見等
村上	<ul style="list-style-type: none"> ●出来ることは早急に解決するという立場に立ってほしい。未満児保育の保育士問題は急務です。保育士資格を持った方のニーズに合った勤務をお願いしてはどうか。10年から20年先のことを考え、職員の自己研鑽を推進し、レベルアップを支援するため、専門職の養成を考えてはどうか。

地区名	ご意見等
村上	<ul style="list-style-type: none"> ●行財政基盤の強化も必要だが、余裕が出てからや後回しではなく、お金は使ってこそ価値があると思う。高校の学費無料化や大学授業料の援助、高校までの医療費や給食費の無料化を検討してほしい。 ●核家族化も世の流れと割り切る前に、固定資産税などの軽減等、同居を促す優遇制度を設けてはどうか。
荒川	<ul style="list-style-type: none"> ●買い物に限らず、医療機関に通う高齢者が今後、増加すると思う。デマンドタクシーは便利ですが、リザーブするのが厄介。コミュニティバスがあればより一層便利で、定着すれば活性化に大きく寄与すると思う。
神林	<ul style="list-style-type: none"> ●A I化により効率の悪い状態から良い状態に変わると思う。A I化をこなせる職員が集落に入り、対応してくれることを望む。 ●保育園の入園選択は良かったと思う。 ●主要道路以外の道路補修が、合併後、予算の関係などで進んでいないと思う。 ●財政が厳しい中、保育士の確保が難しいと思うが、若い世代が村上市に定住しても良いと思えるよう、特化してでも手厚くした方が良く思う。 ●まちなか循環バスやデマンドタクシーの運行など、公共交通の更なる充実が必要だと思う。高齢者の外出機会を増やすことで健康寿命を延ばすことができるのではないか。 ●病児保育センターを加えてほしい。 ●各地区に総合型スポーツクラブが組織されたが、理念や方向性によって事業も異なり、同じサービスが提供されているとは限らない。クラブ間の連携を深め、エリアマネジメントが必要だと思う。 ●現在の市民協働のまちづくり事業は、地域まかせの傾向がある。行政と地域が一体のまちづくりの充実が必要だと思う。
朝日	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者見回りや災害時の避難方法の徹底、通院や買い物困難者への支援方法の構築が必要だと思う。 ●子育て世帯への経費削減やサービスの徹底が必要だと思う。 ●まちづくり推進のため、民間活力を活発化させるアクションプラン作りが必要。観光振興については、国内外から関心を集めるような観光ルートや物産の発掘が必要だと思う。 ●公共施設の統廃合は、配慮が必要な面もあるが、長期的な見地からプランを考える必要があると思う。 ●市内の自然、文化、歴史などの特性を見据え、地域ごとに特化したプランを構築する方向性も必要だと思う。 ●合併により、これまで細かいところまで行き届いていた行政サービスが滞っていると思う。 ●この地に生まれて良かった。この地域に将来は住みたいといった郷土愛、郷育教育を充実してほしい。

地区名	ご意見等
朝日	●保育士の確保が難しい状況により、必ずしも満足のいく状況になっていないのはなぜか。その対策はあるのか。
山北	<ul style="list-style-type: none"> ●有料になったことによりサービスが低下したとは言えない。この項目だけに別意見の紹介があるのは如何なものか。 ●広域的な見地や地域特性をもう少し明確にすることで、重点整備の具体的イメージが出来ると思う。広域的な見地が、市民均等な住民サービスの享受を停止させるケースとはどのような場合か。 ●各地域ごとにまちづくり協議会が発足したことは評価できる。 ●職員・議員の人数見直し、削減は評価できるが、支所については、現状の人数でスムーズに住民対応が出来ているのか疑問に感じる。将来的に不安に感じている。

4. これからのまちづくりに向けて

地区名	ご意見等
村上	<ul style="list-style-type: none"> ●「定住の里づくり」はいいコピーだと思う。強くアピールを引き続きしてほしい。 ●他県にはない特別なものが村上市にはない。観光の目玉としてビックな物産館を作り、多くの客を誘致し、お金を落としてもらうことで、農林漁業も潤い、後継者の生活も安心できるのではないかと思う。 ●安心して子どもを産み育てられる環境づくりをしてほしい。 ●温泉を活かし、リハビリテーション病院を誘致し、健康寿命を延ばしてほしい。お年寄りが元気で、子ども達がのびのびしているまちが「笑顔のまち村上」だと思う。 ●市民一人ひとりが、何らかの形でまちづくりに参加し、活気ある村上、きれいな村上にしてほしい。
荒川	<ul style="list-style-type: none"> ●定住の里づくりは、一層、重要な戦略的目標。医療・介護の充実喫緊の課題。現状を素直に捉え、改善に努めることは当然であり、同時に少し長いスパンで展望をたて計画化する必要があると思う。 ●医学生への奨学金給付制度などは考えられないか。 ●若者向けの公共住宅も必要だと思う。 ●子どもを安心して産むことができれば若者が増え、若者が増えれば医療の需要が増えると思う。
神林	●生きがいを集落住民に与えられたらと思う。

地区名	ご意見等
神 林	<ul style="list-style-type: none"> ●集落総会の様子を把握し、良いところと課題をまちづくり協議会で見つけてほしい。 ●企業誘致と雇用の拡大。特色ある地域づくり。 ●ソフト・ハード事業の一体で、特色ある地域づくりにより、交流人口、定住・移住人口を増加させることで、経済の活性化を図ることが重要だと思う。 ●消滅自治体にしないためにも行政だけでなく、地域住民も巻き込んで人口減少や少子高齢化等に取り組む必要があると思う。 ●女性も含め、若い人にとって定住できる魅力、特典がなければ人口減少や少子高齢化は止められないと思う。 ●企業誘致は勿論、保育園の無償化に特化してでも進めるべきだと思う。 ●「第2次総合計画」の次に「やさしさと輝きに満ちた笑顔のまち村上」を追加してほしい。
朝 日	<ul style="list-style-type: none"> ●限界集落をなるべく増やさない方法を行政も住民と一緒に考えて、その実現に向けて汗をかいてほしい。 ●高齢化対策を進める。自助共助の取り組みを進める。 ●これから生きていく子ども達のために、より良い村上市に。 ●少子高齢化や人口減少などの諸課題に対応したプランを作るために、人材育成や総合戦略を今後、考えていかなければならないと思うなど、他の項目も含め将来展望を入れてはどうか。
山 北	<ul style="list-style-type: none"> ●急激な人口減少や少子高齢化のスピードが速すぎて各施策が追いついていない現状が大変不安に思う。 ●若者が定住しやすいまちづくりをしてほしい。 ●若者が住んでみたい、ふるさとに帰りたいと思えるような手厚い対策を重点に置いてほしい。